

交通安全は、一人ひとりが主役

交通安全住民集会を開催



8月23日(土)早朝、古牧小学校体育館で約500人が参加して古牧地区交通安全住民集会を開催しました。

近年、古牧地区は都市化、住宅化が進展し、幹線道路が整備され、交通量の増加により、毎年交通死亡事故が発生しています。

集会に先立ち、昨年から今年7月までに古牧地区で交通事故で亡くなられた5人に黙とうを捧げ、ご冥福をお祈りいたしました。



主催者を代表し、住自協小林会長より

- ①一人ひとりが細心の注意を払い、事故に遭うことのないよう、交通ルール、モラルを守って欲しい
- ②「安全、安心で住みよい古牧づくり」にするため、各行政機関と連携を密に取り安全意識の高揚を図って行きたい

と挨拶がありました。

引き続き、運転者・老人・子どもそれぞれの立場から「交通事故撲滅」を、最後に参加者を代表して住自協丸山育成部長が宣言を読み上げました。

特に子どもの立場で水内魁人君から、同級生の死亡事故は非常に悲しく「一人ひとりが交通安全に対する意識の向上が大切であり、絶対に交通事故を起こさないでほしい」と発言されました。

その後、西尾張部交差点周辺に移動し、運転者に注意喚起するポケットティッシュとチラシを配布し、街頭啓発活動をしました。

この住民集会開催にあたっては、実行委員



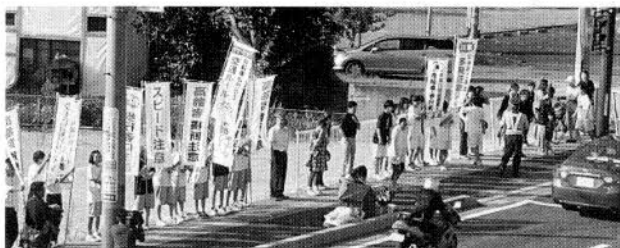
会が組織され、長野市支所発地域力向上支援金事業の支援金をいただいで実施することができました。

(交通安全部)

あの日から1年 女子中学生の命日に啓発活動

昨年8月7日 西尾張部交差点で三陽中学校の山田奈緒さん（当時中学2年生）が夏休み中の部活（バスケットボール）の練習後、自宅に帰る途中、青信号の横断歩道を自転車で横断中、左折してきた大型トラックにはねられ死亡しました。

この日は、古牧住民自治協議会安全部、交



通安全協会古牧支部、三陽中学校同級生等約150人が参加、黙とうを捧げた後、参加者全員で更なる交



通事故撲滅の「のぼり旗」を掲げ、中学生からは「おはようございます、交通事故が減るようご協力をお願いします」等声をかけ交通安全街頭啓発活動を実施しました。

また、同級生は「中学生生活で一番思い出に残る3年生の修学旅行に一緒に行きたかった」と、涙ながらに語っていました。

（交通安全部）

交通安全を加えてポスターを募集 防火・防犯・交通安全ポスター審査会

33回を迎えた今年は、防火・防犯ポスター事業に、新たに交通安全のポスターを加えて募集しました。

この事業は、多発する犯罪等に対処し、33年前に犯罪抑止と防火・防犯の啓発、更には子ども達の健全育成を目的に、保護者と地域社会が一体となり子ども達を育てようとの思いから始められた古牧地区独自の重要な事業です。

今年も多くの応募があり、各地区で入選された作品の審査会を、8月23日古牧公民館に於いて開きました。当日は、各区区長、市議会議員、消防、警察、学校長ほか約80人による厳正な審査の末、入選作品18点が選ばれました。



審査会の講評では、この事業を通して、子ども達と地域社会が関わりを持つこと、小さい時から防火・防犯・交通安全の教育が大事であると話され、ポスター事業がますます発展し、長く続くことをお願いしたいとありました。



今年のポスター募集事業に応募して下さった大勢の小・中学生の皆様、また、事業を推進していただいた地区育成会を始め、関係の皆様へ感謝を申し上げます。大変にありがとうございました。

なお、9月7日（日）の入選作品表彰式の様子は、次号に掲載する予定です。

（安全部会）

残暑の中での楽しいひととき

～一人暮らし・高齢者の集い～

残暑というより盛夏と言った方がそぐわしい8月20日、古牧公民館で「一人暮らし・高齢者の集い」が開かれ、役員を含め34人の参加者がありました。

これは福祉健康部とボランティア古牧の共同企画によるもので、合唱・寸劇・またボランティアの人が腕を振るい栄養に配慮した昼



食ありと、暑さも忘れ楽しいひと時を過ごしました。

さて次の3つは何のためでしょう。①バランスの良い食事、②何事にも興味を持ち頭を使う、③適度な運動。これはこの日行われた講習会「認知症予防」で教わった毎日行いたい習慣の一つですが、まさに本日の会合がそれにピッタリだったとは出席者の声でした。

次回は12月にX'mas会を兼ねて行う予定です。該当者の皆さん！参加してみませんか。

(福祉健康部)

自分たちのまちは 自分たちで守る

～災害から地域を守るため～

8月30日(土)に古牧地区住民自治協議会では、「県北部地域に地震が発生し、市内では震度5強を観測し被害が発生、合わせて局地的な豪雨により、古牧地区では一部地域が浸水、被害が発生した。」との想定で、次の訓練を実施しました。



- 古牧地区の災害対策本部の設置と運営
- 各区の災害対策本部の設置と運営
- 本部と区本部との情報伝達訓練
- 防災訓練(地区での土嚢積み訓練・車椅子避難訓練)



○炊き出し訓練と試食

○防災備蓄倉庫・土嚢置き場を確認

去年に続いて参加している人も今年度初めての人も、緊張した面持ちでてきぱきと任務を遂行できたことが大きな成果といえるでしょう。

この訓練の反省を生かして、実際の災害時にも落ち着いて柔軟に対処できるよう、毎年訓練を重ねていくことが大切だと思います。

(総務部)



9月から11月までの主な行事実施日のお知らせ

*は、多くの皆様の参加をお待ちしています。

事業名	実施日	場所	実施内容	お問合せ先
秋の交通安全運動	9月下旬	各地区	交通安全の啓発 (21日～30日)	交通安全部 227-8219
戦没者追悼法要	9月27日(土)	西光寺		総務部 227-4523
希望の旅	10月3日(金)	湯っ蔵んど	身障者と福祉関係者の慰労・ 懇談	ボランティアセンター 244-8159
ボランティア 養成講座 *	10月7日(火)	古牧公民館	マジック講習会 21日(火)、28日(火)にも実施	ボランティアセンター 244-8159
介護者相談会	10月10日(金)	古牧公民館	介護における悩み事を気軽に ご相談ください	ボランティアセンター 244-8159
全国地域安全運動	10月中旬		11日～20日	防犯部 226-2525
ふるさとふれあい 教室	10月19日(日)	南部小学校	ウォークラリー等	公民館部 226-1562
介護者のつどい *	10月23日(木)	古牧公民館	介護者の交流	ボランティアセンター 244-8159
ふるさと文化 芸能祭 *	11月3日(月)	古牧公民館、 古牧小体育館	作品展示、芸能発表	公民館部 226-1562
学校と地域で人権 を考える集い *	11月5日(水)	緑ヶ丘小学校		人権・男女参画部 263-3134
交通安全啓発活動	11月5日(水)			交通安全部 227-8219
総務部会視察研修	11月6日(木)	富山県内 (7日(金)まで)	防災、環境美化の研修	総務部 227-4523
男性の料理教室 *	11月18日(火)	古牧公民館		ボランティアセンター 244-8159
活き生き古牧 みんなでトーク	11月22日(土)	古牧公民館	古牧地区の課題について意見 交換	事務局 259-8359

しゃばえんびつ



子育て支援で パワーを頂く

地域によって回数の違いはありますが、子育て支援の会場で私たち支援者は若さあふれる子どもたちのパワーを頂いております。

生後数か月の赤ちゃんから入園前の子どもまで、この子たちの成長ぶりはいつもながら驚きです。

小さな子は音の出るものや動くものすべてに興味を示し、また、大きな子どもは仲間どうして玩具の奪い合いっこをしながらも和気あいあいとんだり跳ねたり楽しんでいます。

子どもたちのみなぎるパワーを感じつつ、今の純粋な気持ちを大きくなっても持ち続けることを願わずにはいられません。成長していく子どもたちの未来を温かく見守っていきたいと思います。

皆さん、子育て会場へ足を運んで、小さな子どもたちと一緒に楽しいひとときを過ごしてみませんか。

(長田 公子)



古牧地区の世帯数と人口

26年8月1日現在

10,895世帯

26,447人

(男 12,984人 女 13,463人)

- 発行所 古牧地区住民自治協議会
(電話 259-8359)
- 発行者 小林 逸郎
- 編集 ぷらネットこまき編集委員会
- 印刷 (有)小池印刷